

どんぐりだより

発行 2012年5月25日
福島大 21号

平成二十四年四月より、どんぐりころころは、二歳からの幼児教室となりました。

歩くことを中心にした保育を引き続き、行っていきます。

現在、二歳児が全員で七名、一日三、四名が出席しています。三月まで比べると、かわりがないかなあ...とも思いましたが、始まってみると、今のところ、この人数が一人一人にとって、自分が出せていいようです。

どの子も、無理なく安心して、自分の気持ちのままに行動しているのがよく見えます。やりたい時にやりたいことを、やってほしいこと、友達とは、手をつなぎ合っていて、いいムードになっていたり、逆にもめていたり、思い通りにならなくて、落ちこんだり、大泣きしたり、そして、まねっこし合っていて、楽しいことやできることが増えていたり...

同じ年齢の友達と一緒にいるって、子どもにとって、こんなに大事なことになるのか、と改めて実感した四月の毎日でした。

時期を見て、一日の人数の調整をしたいなあとも思いますし、十人位まで友達が増えると尚一層いいですね。園児募集、がんばります!!

「一日、2km」せいのジャンプ。二歳児が一日に歩く距離は、2kmを目標にするよ!とある書物で学びました。そこで四月は、「たけのこ公園(下保谷第三公園)」にはほぼ毎日遊びに行きました。以前は、すべり台が、子どもたちの体の大きさを動きに合っていないかと思いき、あまり遊びに行かなくなった「たけのこ公園」ですが、今は、ちょうどよい遊び場になっています。

砂遊び(木や葉や枝も、皿や食べもの、料理の道具になります)、ブランコやすべり台、鉄棒等の固定遊具(その子なりの関わり方、楽しみ方で)、おいかけてこやかくれんぼ(大きな木があることで動きが広がります)、虫探し(アリやダニゴジ等)...

毎回、飽きることなく遊んでいます。また、歩くだけでなく、様々な動作を意識的に鍛えようと考え、四月は、段差からの両足跳びに挑戦しました。公園や散歩の途中で、安全に楽しい雰囲気を作りかけ、やってみました。友達が刺激になって、何度かやるうちに動きがスムーズになる子もいれば、動きはあとい息でも気持ち持ちは「ヒョーン」と跳んでいる子もいます。

三月までの子どもたちの様子から、遊具や絵本の内容、教、置き方を大幅に変えてみました。

室内の遊びでは、お弁当のふたの開閉と、するのし手指を使うたり、食べ物やパズルを指先でつまんだり、両手を同時に動かして袋に弁当を入れたり、手先が鋭えられます。使っています。

昼食後の室内の遊び

三月までの子どもたちの様子から、遊具や絵本の内容、教、置き方を大幅に変えてみました。

- お弁当作り**
 - お弁当を作る。
 - お弁当を手さげに入れて、お出かけ。
 - お弁当を食べる。
- 人形のおんぶ(布)**
 - おんぶする。
 - おんぶして買物へ。
 - ごはんを食べさせたり、布団をかけて寝がつけたり。
- 木製パズル**
 - うまはめられず! 保育者と頼ったり、あっちこっちへ向きを変えてかんはったり。
- ミニチュアカー**
 - 道路に見立てた場所を走らせたり、荷物を載せて西配達に行ったり。

誕生日おめでとう!

四月十六日(月) 三歳の誕生日をお祝いしました。誕生日の前後に、一人一人のお祝いとします。歌やカードのプレゼントがあります。模型のケーキを目の前に、その日出席の四人ではりきって、歌を歌いました。続けてあおい君が、「フリー!!」とろうそくを吹き消す真似。あおい君は、ケーキを食べる気満々!! 食べられないものだと分かると、にが笑いました。